

今月のトピックス

- | インフルエンザの流行の目安である定点あたり 1.00 を上回る区が見られました。
- | RS ウイルス感染症の報告が多い状況が続いています。
- | 感染性胃腸炎の報告が増加しています。
- | 水痘の報告が増加しています。

全数把握の対象

【11 月期に報告された全数把握疾患】

細菌性赤痢	1 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	1 件
腸管出血性大腸菌感染症	2 件	ジアルジア症	1 件
腸チフス	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	3 件
レジオネラ症	3 件	風しん	1 件
アメーバ赤痢	2 件		

- 1 細菌性赤痢: *Shigella flexneri* (B 群) の報告が 1 件ありました。国内での感染が推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症: 2 件 (O157 VT2、O103 VT1) の報告がありました。O157 VT2 の事例では国内での感染が推定されており、原因は現在調査中です。また、O103 VT1 の事例はイタリアでの感染が推定されていますが感染経路等不明です。
- 3 腸チフス: 1 件の報告がありました。渡航先 (ネパール) での感染が推定されています。
- 4 レジオネラ症: 肺炎型 2 件、無症状病原体保有者 1 件 (入院時の検査で判明) の報告がありました。どちらも感染経路等調査中です。
- 5 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 2 件の報告があり、1 件は国内での同性間性的接触、もう 1 件は国外での異性間性的接触による感染が推定されています。
- 6 後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む): 1 件の無症状病原体保有者の報告がありましたが、感染経路感染地域等不明でした。
- 7 ジアルジア症: 1 件の報告がありました。ネパールでの経口感染または水系感染が推定されています。
- 8 侵襲性肺炎球菌感染症: 3 件の報告がありました。1 件は 50 歳代女性 (ワクチン接種歴無し) で、症状は発熱、咳、全身倦怠感です。血清型は 7 型でした。もう 1 件は 70 歳代男性 (ワクチン接種歴不明) で、症状は発熱と咳で、肺炎が認められました。血清型は 19 型でした。残るもう 1 件は 80 歳代男性 (ワクチン接種歴無し) で、症状は発熱と咳で、肺炎と低酸素血症が認められました。血清型は現在検査中です。
- 9 風しん: 1 件の 10 歳代女性の報告がありました。予防接種歴は確認できませんでした。ペア血清で診断されました。先天性風しん症候群予防のため、妊娠を予定・希望している女性は予防接種を受けましょう。予防接種の助成が実施されています。

[横浜市の風しん予防接種助成の詳細](#) (保健所)

定点把握の対象

- 1 インフルエンザ: 第 47 週は市全体で定点あたり 0.17 と流行開始の目安となる 1.00 を大きく下回っていますが、緑区で 2.20 となりました。迅速キットの集計では、第 46 週 A 型 65.2%、B 型 34.8%、第 47 週 A 型 75.0%、B 型 25.0% と、シーズン初めにしては B 型の報告が多くなっています。全国のウイルス検出状況では、AH3 亜型 (A 香港型) を中心に、AH1pdm09、B 型 (ビクトリア系統)、B 型 (山形系統) が混在しています。

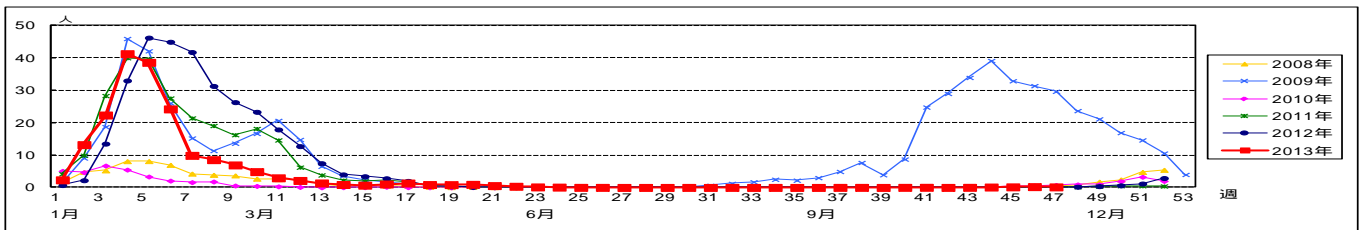
平成 25 年 週 - 月日対照表	
第 44 週	10 月 28 ~ 11 月 3 日
第 45 週	11 月 4 ~ 10 日
第 46 週	11 月 11 ~ 17 日
第 47 週	11 月 18 ~ 24 日

今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、予防や早期受診などの対策が重要です。

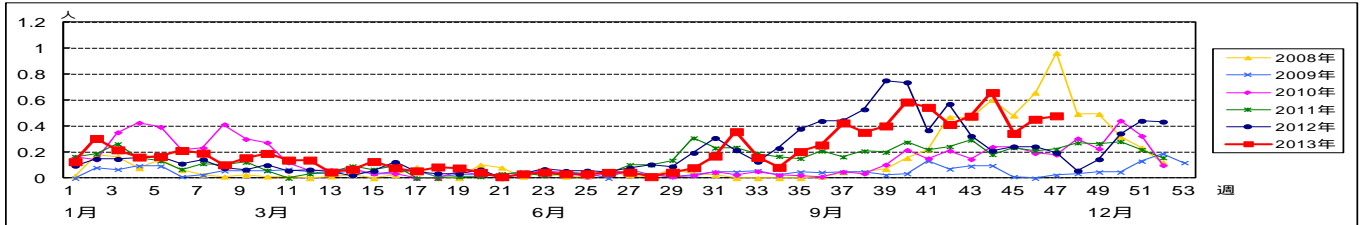
[横浜市インフルエンザ臨時情報](#) (衛生研究所)

[インフルエンザウイルス分離・検出速報](#) (国立感染症研究所)

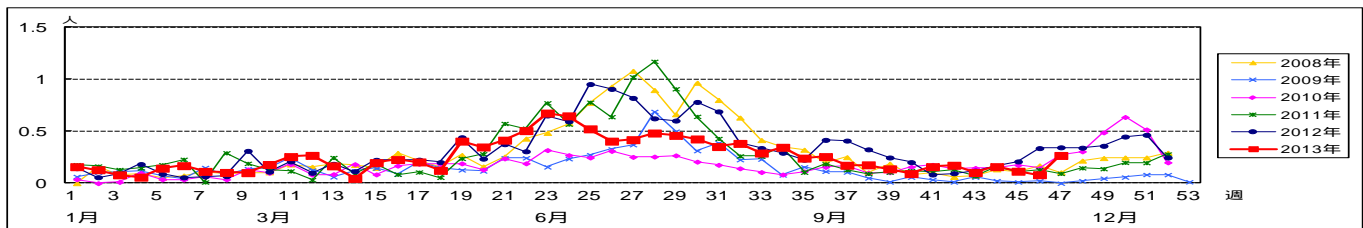
[インフルエンザ予防チラシ](#) (横浜市)



2 **RSウイルス感染症**:市全体で第47週0.48と報告の多い状況が続いています。寒い季節に流行する疾患でもあり、今後の注意が必要です。

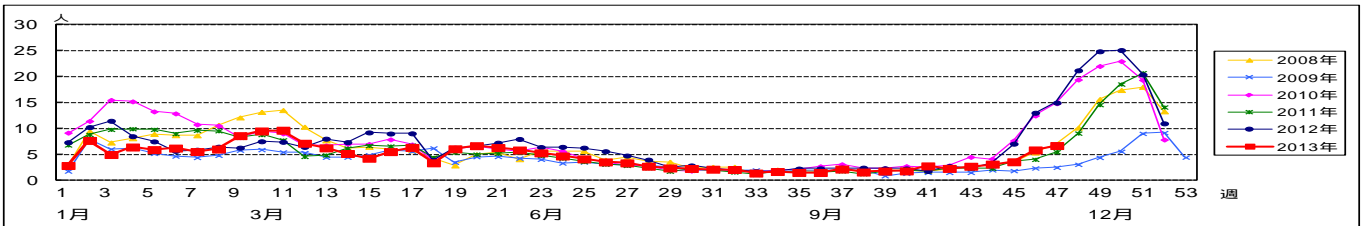


3 **咽頭結膜熱**:市全体で第47週0.27とやや報告が多くなっています。

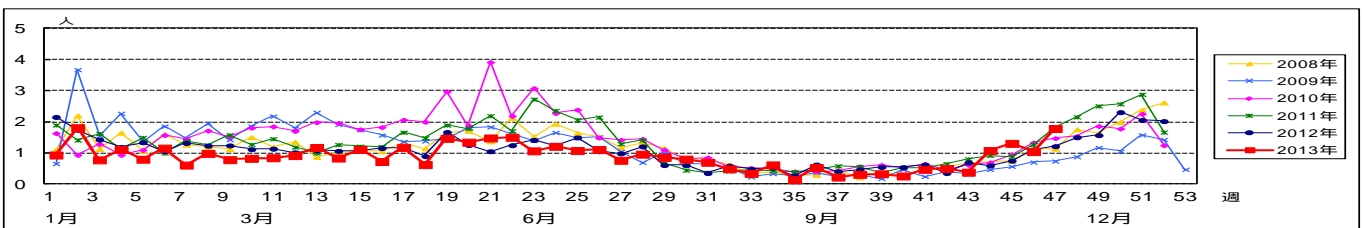


4 **感染性胃腸炎**:市全体で第47週6.75と報告が増加しています。例年冬期を中心に流行する疾患であり、今後の注意が必要です。予防には手洗い、便や吐物の適切な処理と消毒、食品の十分な加熱が重要です。ノロウイルスの消毒には次亜塩素酸による消毒が有効です。

[横浜市感染性胃腸炎臨時情報](#) (衛生研究所)



5 **水痘**:市全体で第47週1.79と報告が増加しています。瀬谷区では定点あたり9.75と警報レベル(7.00以上)、中区5.50、旭区4.60では注意報レベル(4.00以上)となっています。例年年末にかけて報告数が増加するので注意が必要です。



6 **性感染症**:10月は、性器クラミジア感染症は男性が36件、女性が14件でした。性器ヘルペス感染症は男性が6件、女性が4件です。尖圭コンジローマは男性8件、女性が4件でした。淋菌感染症は男性が23件、女性が0件でした。

7 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第44週1.25、第45週0.75、第46週0.75、第47週0.00となっています。感染性胃腸炎(ロタウイルス)は第46週に1件報告がありました。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

8 **基幹定点月報**:10月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症9件、薬剤耐性緑膿菌感染症1件の報告がありました。薬剤耐性アシネトバクター感染症とペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>